

# まいつるパート II

令和4年度 No.5 校長室だより

通算No. 5 (R4. 6. 13)

霧島市立国分小学校長

新年度が始まって2か月半、子どもたちも新しい環境にすいぶん慣れてきたようです。また、朝の登校の際、保護者に手を引かれて登校してきた1年生が、児童玄関前までから正門前まで、そして正門から離れたところで…と、発達段階に応じて徐々に保護者の手から離れていく姿に成長を感じています。(徐々に親離れ、子離れができていていると感じています。)

先日、家庭教育学級があり、子育ての究極の目標は「**独り立ち**」(自立・自律)だとお話をさせていただきました。このことに関する資料がありましたので、子育ての参考にさせていただきます。

## 今、家庭教育で心がけたいこと

— 心は、ここで育てましょう —



### 1 子どもに自信をつけさせる5か条

- (1) 家事を手伝わせ、「助かったよ」と子どもに感謝する。
- (2) どんなことがあっても、親は子どもの味方であることを繰り返し伝える。
- (3) 子どもの失敗を減らすには、「失敗してもいいんだよ」と話す。(失敗から学ぶことも多々あります。)
- (4) 例え謙遜でも、わが子の欠点を第三者に話さない。
- (5) 得意科目に時間をかけた方が、不得意科目も向上する。(一芸に秀でると他芸も…)

【子育ては、共感・肯定・信頼で】

### 2 今、わが子に何を教えるべきか

- (1) 「自立」の力をつける。(次の3を参照)
- (2) お金と労働の値打ちを教える。(職業観も含めて・職場体験…)
- (3) 家の仕事をさせる。(手伝いではなく、家族の一員としての責任で)
- (4) 他人の痛みが分かる感性を育てる。(人と人とのふれあい・心の交流)
- (5) 感動体験を通して、「おかげさまで」・「感謝」の気持ちを育てる。
- (6) 親も子どもと共に、地域の活動に積極的に参加する。



【親は、もっと自分を語ろう】

### 3 自立のための10か条

- (1) 朝、決まった時間に自分で起きられるか。(早起き・朝ごはん)
- (2) 元気に歩いて、一人で学校に行けるか。(元気に「行ってきます」)
- (3) 自分で整理・整頓ができるか。(学習用具・自分の部屋)
- (4) 友達と元気に外で遊べるか。(外で遊ぶ機会があるか)
- (5) 善悪のけじめがつけられるか。(自分なりに判断できるか)
- (6) テレビやゲームなどを自分でやめられるか。
- (7) 何かミスをしたら「ごめんなさい」、人にしてもらったら「ありがとう」を自分から言えるか。
- (8) 約束や順番が守れるか。
- (9) 家族で決めた仕事を自分からやれるか。
- (10) 夜、決まった時刻に自分で就寝できるか。(早寝)

ありがとう



※ 子育ての究極の目標は、「**自立した子ども**」を育てることだと考えます。「自立した子ども」を育てるとは、「**自問自答**」できる子どもを育てることにつながります。つまり、自ら問い、自ら答え(価値観)を見つけ出し、自ら行動できれば、人生を有意義に過ごすことができることになるのではないかと考えます。(親の先回りの手助けは自立の阻害要因になります。)

### ☆ ひとこと ☆

ゲームやネットに夢中になりすぎると、時間の無駄遣いになりそうです。勉強や読書はもちろんですが、様々な体験活動に時間を有効活用してほしいと思います。そのことが自立にもつながると思います。

学校教育目標「胸を張って堂々と生きる」 青少年赤十字の目標「気づき・考え・実行する」